

環境報告書

2021



九州大学病院別府病院

1. 目 次

1.	目次	2
2.	トップメッセージ	3
3.	別府病院概要	4～5
4.	環境安全教育	6
5.	エネルギー、廃棄物処理	7～10



(別府病院最後の桜ライトアップ)

2. トップメッセージ

九州大学病院別府病院では、内科、外科、整形外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科の6診療科を擁し、地域の皆様に最高水準の医療を提供できるよう、日々診療と研究に勤しんでいるところでございます。昨今は、様々な地域社会において、環境問題が取り沙汰されており、各診療科の医療現場におきましても、環境問題への認識が重要化してきております。世界的に見ましても、人類社会における様々な産業活動による持続的な炭酸ガス排出に伴い地球温暖化が進行していると言われていたり、化学物質による環境汚染など、環境問題は、国際的社会問題であり、医療産業においても広い視野を持って取り組むべき課題であります。医療の分野では、医療機器の運用は生命維持の観点から安易に節約することが困難でありますし、感染拡大防止のために再生利用されない消耗品も多く存在します。また、厳重管理を要する放射性物質や麻薬性医薬品を扱うといった医療産業ならではの特殊な状況も存在します。一方では、医学の急進的進歩により、先進医療の現場への導入は加速しております。このようななか、未曾有の加速度を持って超高齢社会に突入した我が国において、より多くの高齢者の方々に適切な医療を提供することは大学病院において、今後ますます重要性を増すことは疑いない所です。このような患者数増大、患者高齢化、先進医療の導入拡大においては、医療の量的拡大かつ質的上昇の両方を同時進行せねばならず、医療機器の適正な運用と医療廃棄物の適正な管理が、大学病院において、ますます重要課題となっております。私どもは、「これまでと同様に」ではなく、こういった急進的に変容して行く医療環境、すなわち高度化する医療機器運用システム、膨大化する医療廃棄物管理、先進医療導入に遅滞なく対応するべく、いわば医療環境保全新時代に突入したという認識をもって未来志向の医療環境保全に努めてまいりたいと考えております。



九州大学病院別府病院長
堀内 孝彦（ほりうち たかひこ）

3. 九州大学病院別府病院概要

名 称 九州大学病院別府病院

理 念 患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◇広域医療圏拠点としての連係体制の構築
- ◇高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◇全人的医療を実践する医療人の養成
- ◇小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ◇国際化の推進

所在地 〒874-0838 大分県別府市大字鶴見字鶴見原4546
TEL 0977-27-1600 (代表)
FAX 0977-27-1605
URL <http://www.beppu.hosp.kyushu-u.ac.jp/>

病床数 一般 104床 療養 36床

沿 革

設 立	1931年(昭和6年)	10月	温泉治療学研究所附属病院
改組・統合	1982年(昭和57年)	4月	生体防御医学研究所附属病院
統 合	2003年(平成15年)	10月	九州大学病院別府先進医療センター
統 合	2011年(平成23年)	4月	九州大学病院別府病院

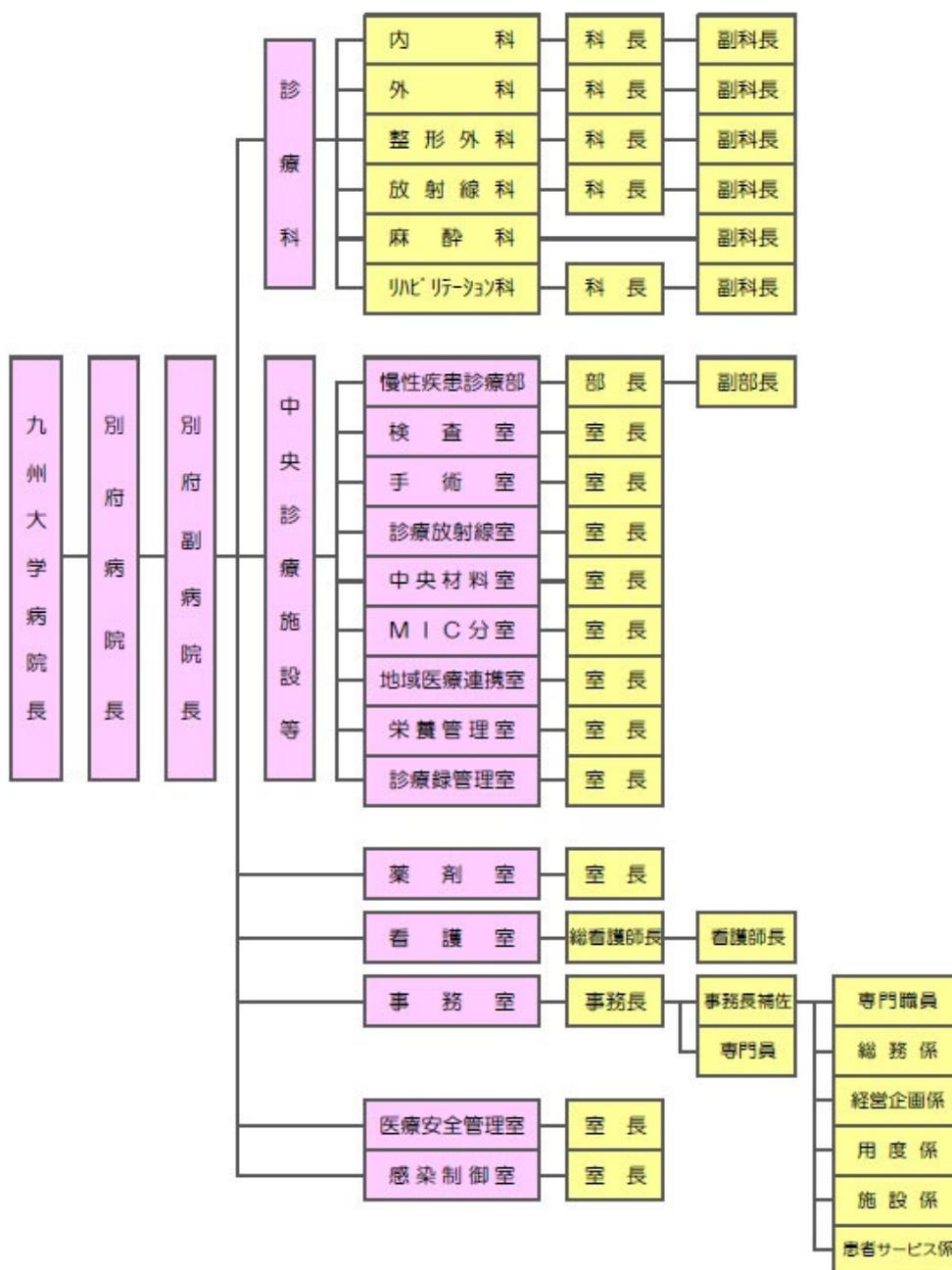
構成員 (令和3年4月現在)

教 員	18人
医員・研修医	8人
医療技術関係職員	21人
薬剤関係職員	6人
看護関係職員	89人
事務関係職員	35人
その他職員	16人
合 計	193人

別府病院の組織図

令和3年度4月現在

組織



4. 環境安全教育

令和3年4月1日（木）に、九州大学病院からのネット中継を使い、転任者及び新規採用者に「新採用者合同研修」等に基づき、医師・看護師・職員が講師となり次のような安全教育を実施しました。

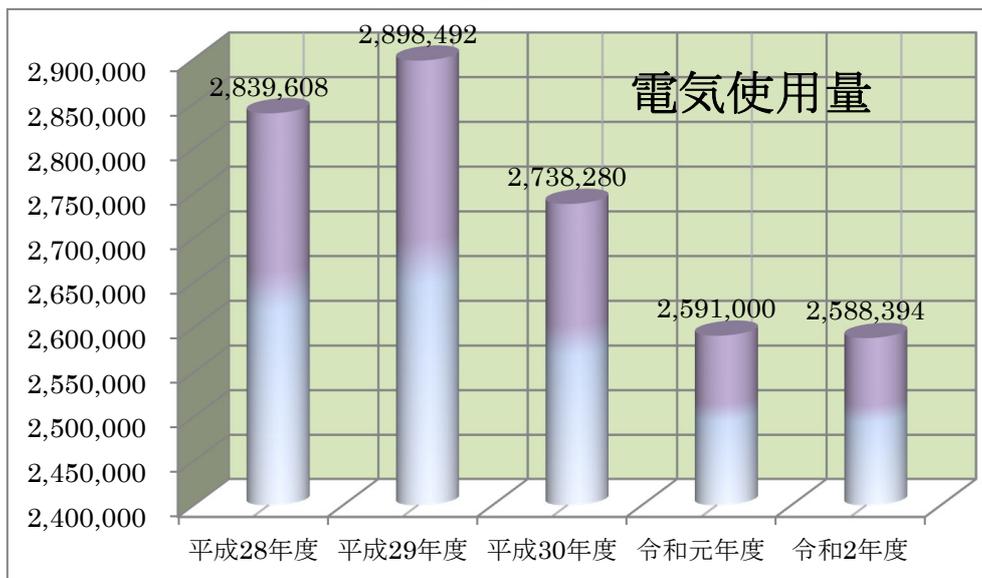
1. 病院概要
2. 就業規則等について
3. 防災について
4. 薬剤とオーダーの運用について
5. 九大病院の栄養管理について
6. 診療放射線室について
7. 感染対策の徹底について
(新型コロナウイルスなど)

5. エネルギー、廃棄物処理

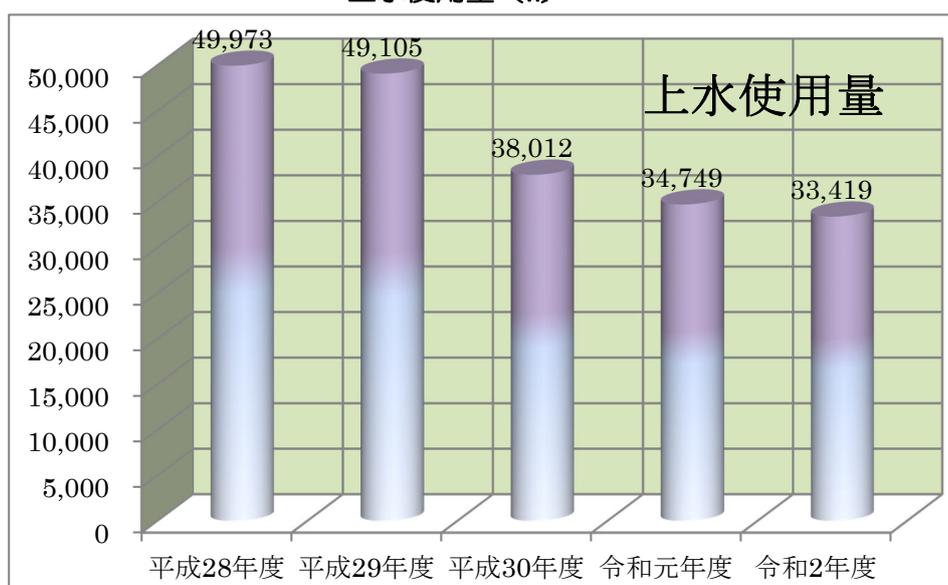
(1) エネルギー

別府病院でも、エネルギー管理を行うために下記の表を作成してエネルギーの管理資料としています。

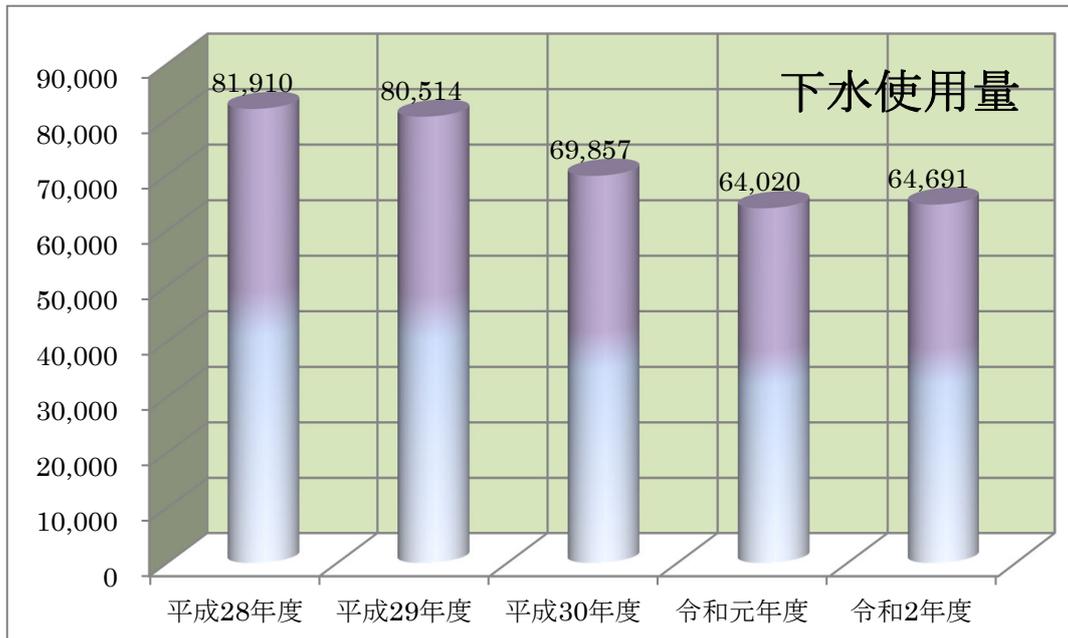
電気使用量 (Kwh)



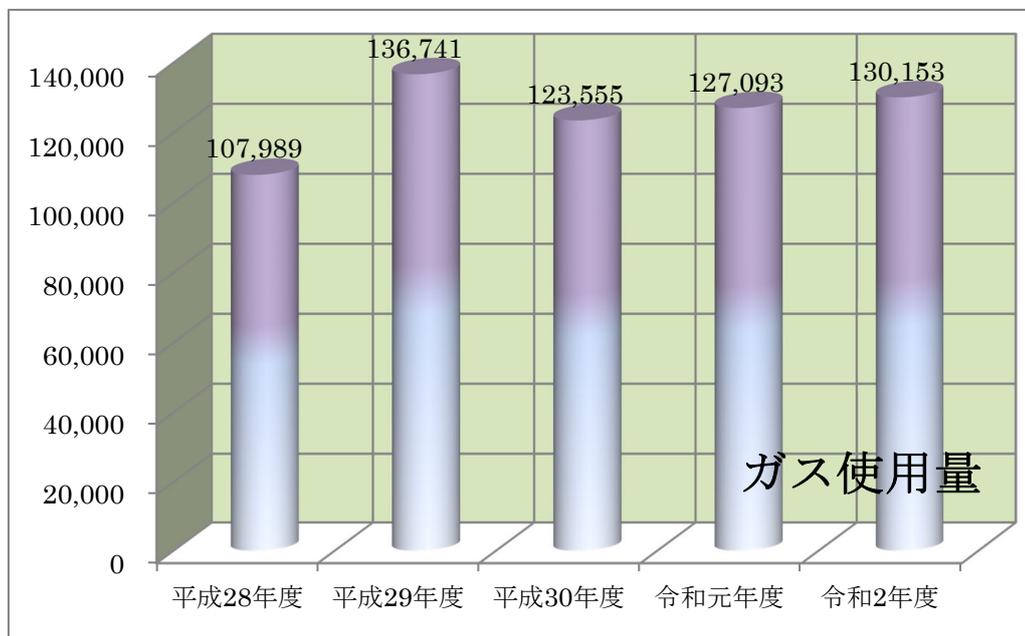
上水使用量 (m)



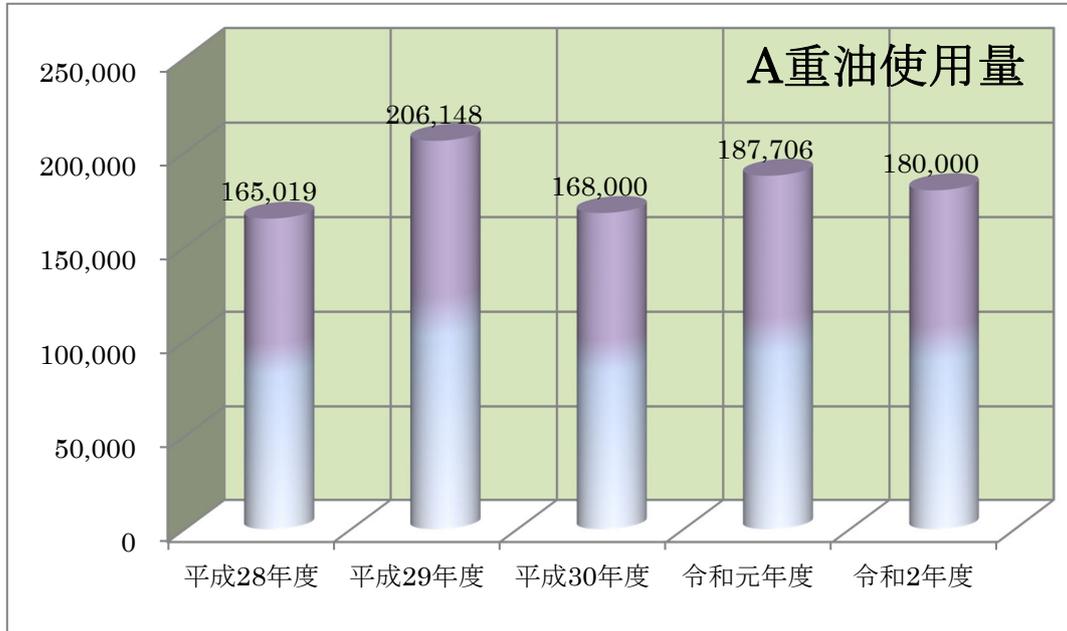
下水使用量(㎡)



ガス使用量(㎡)



A 重油使用量(L)



(2) 廃棄物処理（医療廃棄物）

別府病院では、医療廃棄物（感染性・非感染性）及び一般廃棄物（可燃・不燃）を分別して集荷しています。医療廃棄物については取り扱いについて注意する必要があります。医療で使用した針はさらに個別の専用容器に入れて廃棄しています



専用の分別容器に入れて廃棄を行っている。
左から可燃、非感染性
廃棄物、感染性廃棄物
×2



医療用で使用した廃棄する針を入れる専用容器



廃棄物置場においても分別して集荷している
左から段ボール、感染性医療廃棄物、非感染性医療廃棄物、不燃物、可燃物（医療廃棄物置場は常時施錠しています）